

第1学年1組 学級活動（1）指導案

1. 日時・場所 平成26年7月2日（水） 13:40～ 1年1組教室

2. 議題 「なつの にこにこ ひまわり しゅうかいを しよう」

3. 議題について

男子15名、女子14名、計29名の学級である。明るく素直な児童が多い。入学から3ヶ月が経ち、学校生活や学級にもなれ、緊張していた児童も学級での様々な活動において笑顔で過ごすことが増えた。6月初めに転入生が入ってきた際には、早く慣れるように、休み時間に遊びに誘ったり、学校のことを覚えられるようにと学校探検に連れて行ったりしていた。

学級目標を意識して生活できるよう、目標に近づく姿が見られた時には、それを言葉にして児童に伝えるとともに、学級目標の掲示（ひまわり）に葉を増やすことで、目に見える形にした。児童も葉が増えることは良いことだと感じ、葉が増えると自然と笑顔になっている。

これまでに4回の学級会を経験している。3回目までは、担任が司会グループの役割を行い、進行の仕方を示した。また、25分間話し合った後に遊びの時間を設け、決定した「イスとりゲーム」などを行った。4回目の学級会で初めて児童が司会グループの役割を行い、45分間話し合った。3回目までは担任から議題を提案していたが、4回目は、児童の「〇〇さんのかんげいパーティーをしたい」という思いを受けて議題を選定した。プログラムを事前に決めておき、学級会では遊びを何にするかを話し合った。「手をつなぐと〇〇さんがみんなとなかよくなれる」というような意見が出るなど、仲間のことを考えながら話し合うことを少しずつ学んできている。

今回は「なつの にこにこ ひまわり しゅうかいをしよう」について話し合う。5回目となる今回は、「夏休み前に、みんなでお楽しみ会をしたい」という児童の思いを受けて議題を選定した。集会のプログラムは事前に決めておく。話し合い活動では、「何をするか」について話し合い、遊びを決める。遊びの経験は児童によって異なるため、あつめた後に質問タイムをとることで、児童の不安や心配を解消し、どの児童も同じ土台で話し合えるようにする。4回の学級会を経験し、児童は理由をつけて発表できるようになってきている。最初の学級会と比べると、理由を発表できる児童が出てきた。「自分が遊びたい」という意見から、友だちが述べた意見に共感し、賛成意見を述べる児童が出てきている。友だちの意見を聞き、「友だちの理由を聞いて、その遊びをやってみたくなった」という姿を、今回の学級会で目指していきたい。

これまでの学級会において、自分たちが決めたことが実際にできる集団決定する学級会のよさを、児童が感じられるよう努めてきた。出された意見の中で決定しなかったものについては、朝レクの時間や雨の日の休み時間などに遊ぶことで、出された意見を大事にすることを伝えている。発言内容については、一年生という発達段階から、反対意見ばかり出してしまうということを考え「反対意見を出して下さい」という投げかけは行っていない。賛成意見を出すように声かけを行うことで、一年間の学級会を通して、友だちの意見のよさを認め合い、めあてに即して話し合う姿勢を身につけていきたい。自分たちで決めたことを実行できる学級会の良さを実感し、学校生活・学級生活を自分たちでよりよくしていくとする態度を育みたい。

いつも にこにこ ひまわり えがお ちからを あわせて くらすで ちゃれんじ みんな なかよし 1-1
--

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲良く助け合っ実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
6月25日 (水)	・「夏休み前に、みんなでしゅうかいをしたい」という思いが児童から寄せられる。	○事前にどんな集会をしたいかを考え、教師に伝えるよう促す。 ☆学級生活の中の問題に気づこうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
6月30日 (月) 中休み	・司会グループで、議題と話し合いのめあて、学級会の進め方について確認する。	○司会グループの役割を説明し、イメージがもてるようにする。 ○めくり台本を提示し、話し合いの流れをつかめるようにする。 ☆話し合い活動の準備の仕方や基本的な進め方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)
7月2日 (水) 朝の会	・司会グループから、議題と話し合いのめあてについて伝える。	○何のために学級会をするのか確認し、めあてにそった遊びを考えられるようにする。 ☆みんなに簡単な提案をしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
7月2日 (水) 中休み	・司会グループによる学級会の進め方について最終確認する。	○前回、確認したことを想起させ、教師の指導のもと一度行ってみることで、安心して学級会にのぞめるようにする。 ☆教師と一緒に話し合いの順序などを考え、簡単な計画を立てている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(2) 本時の活動

① ねらい 友だちの意見をよくきき、笑顔になれるあそびを決める。

② 活動計画

児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)
<p>1. はじめの言葉 (副司会)</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認 「なつの にこにこ ひまわり しゅうかいを しよう」</p> <p>4. 提案理由の確認 (提案者)</p> <p>5. 話合いのめあての確認 (黒板記録) 「みんなが にこにこ えがおに なれる あそびを きめよう」</p> <p>6. 決まっていることの確認 (黒板記録)</p> <p>7. 先生の話</p> <p>8. 話し合う時間の確認 (ノート記録)</p> <p>9. 話合い なにをするか きめよう</p> <p>10. 決まったことの確認 (ノート記録)</p> <p>11. 先生の話</p> <p>12. ふりかえり</p> <p>13. おわりの言葉 (副司会)</p>	<p>○はじめの言葉・おわりの言葉は、副司会が担当すること とで、活動の場が指名だけにならないよう配慮する。</p> <p>○担任はサポート司会という立場で話合いに参加し、司 会グループが安心して進められるよう、助言、補足説 明等を必要に応じて行う。</p> <div data-bbox="775 692 1406 952" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>提案理由 「夏休み前に、みんなで集会をしたいと思って 提案しました。みんなで遊びを決めて、学級 目標の『にこにこ ひまわり えがお』にな れるような集会をしたいです。」</p> </div> <p>○決まっていることは黒板等に提示しておく。</p> <p>○目安の時刻を提示することで、時間意識をもって、話 合いを行えるようにする。</p> <p>○話合いのめあてからそれた場合は、めあてを再度確認 するよう声をかける。</p> <p>○短冊を用意し、出された意見を整理できるようにす る。</p> <p>☆司会グループとして、教師と一緒に話合いの進め方を 考え、司会の役割を果たしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>☆友だちの意見をよく聞いている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○司会グループのがんばりやめあてを意識した意見な ど、児童の良かった点を賞賛し、次回の実践へとつな がるようにする。</p> <p>○話合いの中で見つけた友だちのよさや、話し合ってい て楽しかったことについて理由をつけて発表するよ う助言する。</p>

③ 板書計画

<p>【きまつていること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7がつ14にち 5じかんめ ・ きょうしつ ・ おたのしみかいは 1じかん ・ あそびを 1つ きめる <p>【ぶろぐらむ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 はじめのことば 2 うた 3 あそび 4 ふりかえり 5 せんせいのはなし 6 おわりのことば 	<p>【きまつたこと】</p> <p>ふりかえり</p> <p>せんせいのはなし</p> <p>おわりのことば</p> <p>【きまつたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あにまるばすけつと ・ おうさまげえむ ・ ばくだんげえむ ・ ふるうつばすけつと ・ でんごんげえむ ・ いすととりげえむ ・ だいこんげえむ <p>【はなしあうこと】</p> <p>あそびを きめよう</p> <p>みんなが にこにこ えがおに なる</p> <p>【めあて】</p> <p>なつやすみまえに みんなで しゅうかいを したいと おもって ていあんしました。</p> <p>みんなが あそびを きめて がつきゅうも くひょうの「にこにこ ひまわり えがお」に なるような しゅうかいを したいです。</p>
--	--

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
7月3日 (木) 朝の会	・ 役割分担をする。	○これまでの経験から必要な役割を考え、足りない部分は教師が補うようにする。 ☆必要な役割分担を考えている。 <small>(集団の一員としての思考・判断・実践)</small>
休み時間など	・ 準備を進める。	○必要な材料や道具等があれば、担任が必要に応じて準備する。 ☆みんなで仲良く助け合って集会の準備をしようとしている。 <small>(集団活動や生活への関心・意欲・態度)</small>
7月14日 (月) 5時間目	・ 「なつの にこにこ ひまわり しゅうかい」をする。 ・ 活動のふりかえりをする。	○安全に取り組めるよう見守り、必要に応じて助言する。 ☆みんなで一緒に活動することを楽しんでいる。 <small>(集団の一員としての思考・判断・実践)</small> ○次にどんなことをしたいか、よかったところはどんなところかを中心に、発表するよう助言する。 ☆活動について、よかったところ、直したいところに気づこうとしている。 <small>(集団活動や生活への関心・意欲・態度)</small>

資料：これまでの児童の経験

	議題名	決まったこと	児童の経験
第1回	なかよし しゅうかい をしよう	いすとり ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会の進め方を知る（担任が行う）。 ・司会グループの役割を知る（担任が行う）。 ・話し合っ決定した遊びを直後に行い、集団決定する学級会のよさを感じる。
第2回	なかよし しゅうかい をしよう	ばくだん ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会の進め方を知る（担任が行う）。 ・司会グループの役割を知る（担任が行う）。 ・話し合っ決定した遊びを直後に行い、集団決定する学級会のよさを感じる。
第3回	みんな なかよし 1-1 しゅうかい をしよう	だいこん ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会の進め方を知る（担任が行う）。 ・司会グループの役割を知る（担任が行う）。 ・話し合っ決定した遊びを直後に行い、集団決定する学級会のよさを感じる。 ・理由をつけて発表する。
第4回	〇〇さんの ウェルカム パーティー をしよう	だいこん ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学級会を経験する ・1回目の司会グループを経験する ・理由をつけて発表する。

みんなで遊んで、楽しかった。



学級会って、なんか楽しいな。



司会グループやってみたいな。



今日はぼくたちが司会グループだよ！



授業の視点

- ・友だちの発言をうけた発言が、児童にみられたか。

今後に向けて

- ・4回目までの学級会において、児童から出てくる遊びは自分たちが幼稚園や保育園で経験したことのある遊びに限られていた。児童の遊びの引き出しをふやしていくために、夏休み以降は、次のようなことを行っていきたい。「担任が遊びを児童に教える」、「縦割り活動の中で遊んだ遊びを紹介し合う」、「すでに経験したことのある遊びを工夫して遊んでみる」などのことを行っていこうと考えている。
- ・5回目までの学級会は、教室（室内）の議題で話し合ってきた。教室での遊びは、4～6月まで経験してきているため、同じイメージで話し合うことができると考えたためである。児童からも「外遊びのことを話し合いたい」という声が出てきていることもあり、夏休み以降には、外遊びの議題も選定していく予定である。それに向けて学級でも朝レクの時間を利用し、外遊びを経験させていきたい。